

島根県公共事業再評価 対応方針（案）

作成日 令和元年 6月

番号	事業概要・事業主体等	事業の進捗状況	事業採択時の状況及び社会情勢の変化等	事業効果	環境への配慮 事業を中止した場合の影響	今後の県の方針案
	(事業概要) (事業主体の根拠)	(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) (進捗状況と今後の見込み)	(事業導入の経緯・目的) (事業を取り巻く社会情勢) (事業に対する地元情勢・計画の熟度)	(費用対効果) (コスト縮減・代替案等) (その他の効果)	(生活環境・自然環境への影響) (事業を中止した場合の影響)	(継続・中止)
2	<p>(事業名・地区) 国道431号 防災安全交付金事業 国富工区</p> <p>(事業位置) 出雲市 美談町～国富町</p> <p>(事業費) 2,172,000千円</p> <p>(事業概要) 本事業は出雲市美談町から国富町に至る1.76km区間の歩道を整備するものである。</p> <p>(事業主体の根拠) 道路法第12条</p> <p>(再評価区分) ②事業採択後10年を経過している継続中の事業</p> <p>(担当部課名) 土木部道路建設課</p>	<p>(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) 事業採択年度：H22年度 用地着手年度：H22年度 工事着手年度：H29年度 完了予定年度：R7年度 経過年数：10年</p> <p>(進捗状況と今後の見込) 全体で26%の進捗 用地補償は全体の43%が買収済。 工事は17%の進捗であり、現在河川付替を進めている。道路改良については、平田国富郵便局から市道国富大津線交差点までの約600m区間を令和4年度に供用予定。今後は河川付替区間の用地買収を進め、非出水期に付替を施工予定。</p>	<p>(事業導入の経緯・目的) 当事業区間の出雲市美談町から同市国富町に至る1.76kmの区間は交通量15,956台/日(H27センサス)と多く、通学路に指定されているが、歩道が幅員狭小で一部歩道の無い区間もあり危険な状態である。 このため、本事業によって歩道を整備することにより、安全な歩行環境を確保するものである。</p> <p>(事業を取り巻く社会情勢) この区間は出雲市国富小学校の通学路であるが、歩道幅員は狭小かつ歩道のない区間も存在することから、出雲市通学路交通安全プログラムにおいても早急に歩道拡幅を行う区間として位置付けられている。</p> <p>(事業に対する地元情勢・計画の熟度) 地元は平田地域基幹道路整備促進期成同盟会を組織して道路改良を要望しており、事業の早期完成が望まれている。</p>	<p>(費用対効果) B/C=算定せず ※交通安全事業については便益の評価手法が確立されていないため</p> <p>(コスト縮減・代替案等) ①事業規模の妥当性 道路構造令により、地域区分と計画交通量から、道路規格第3種第2級、設計速度50km/h、道路幅員は2車線+路肩(3.25×2+0.50+0.75)と歩道2.5mの全幅10.25mとした。 ②事業方法の妥当性 家屋等立地状況を考慮し、経済的な河川付替案を採用した。 ③コスト縮減への取組 掘削残土を路体盛土へ流用することにより、工事費を軽減。</p> <p>(その他の効果) 車道・路肩の拡幅や交差点改良等により通行車両の安全性の向上が図られる。</p>	<p>(生活環境・自然環境への影響) 河川護岸の天端部の緑化や、環境保全型ブロックによる水生生物への配慮を実施。 また、工事中の騒音・振動対策としての低騒音、低震動機械の使用を実施。</p> <p>(事業を中止した場合の影響) 通学生などの歩行者の安全性が確保できず、事故等の危険性が解消できない。 地元からの要望が強く、事業を中止した場合は反対が大きい。</p>	<p>(方針案) 継続</p> <p>(継続の理由) 通学路の安全や円滑な交通の確保を図るため、本事業の継続は必要である。</p>

**【路線の概要】**

国道431号は、島根県出雲市を起点とし、鳥取県米子市に至る一般国道である。

当事業箇所の出雲市美談町から同市国富町に至る1.76kmの区間は交通量15,956台/日(H27センサス)と多く、通学路にも指定されている。

**【現状と課題】**

歩道が幅員狭小、または一部歩道の無い区間もあり、歩行者にとって危険な状態となっている。

出雲市通学路交通安全プログラムにおいても早急に歩道拡幅を行う区間として位置付けられている。

**【事業目的】**

歩道整備により安全な歩行環境の確保を図る。また、車道・路肩の拡幅や交差点改良等により通行車両の安全性の向上が図られる。

